

## 障害者差別解消に関する相談事例集の作成について

### 1 概要

#### (1) 目的

東京都障害者権利擁護センターに寄せられた相談のうち、分野ごとに特徴的な事案を抽出し、事例を提示することで、主に事業者に対して差別解消に向けた取組を働きかける。

#### (2) 完成時期 令和3年2月を予定

#### (3) 作成部数

- ・ 2万部（墨字版）作成予定
- ・ ルビ振り、点字、拡大文字版を作成予定

#### (4) 配布先

- ・ 事業者団体、障害者団体、区市町村、学校、都庁各局などを予定
- ・ また、福祉保健局ホームページにて掲出を行う。

### 2 掲載内容

- (1) 平成30年10月から令和2年3月までに受け付けた事例をもとに16件掲載。  
事案の発生要因を検討した上で、同事例の発生予防又は発生後の対応例として、事業者・障害者双方にできること等を掲載。

(単位：件)

	行政機関 等	教育	交通	医療・ 福祉	サービス (飲食等)	不動産	計
視覚障害	0	0	0	0	2	0	2
聴覚障害	0	0	0	0	2	0	2
肢体不自由	1	0	1	0	2	1	5
知的障害	0	0	0	1	0	0	1
精神・発達障害	1	0	0	0	2	0	3
難病	0	1	0	0	0	0	1
その他	0	0	0	1	1	0	2
計	2	1	1	2	9	1	16

※「雇用・就業」分野は、障害者雇用促進法対象のため除外。

※「その他」内訳…化学物質過敏症、パニック障害

### 3 スケジュール

- 8 月 第一校作成後、障害者差別解消地域協議会各委員宛てに提示し、  
二回意見募集を行った。
- 9 月 上記意見を集約した上で、第二校を作成
- 10 月 9 日（本日） 第二校を地域協議会にて提示
- 11 月末 原稿確定
- 2 月 墨字版の完成・配布

※ 各種情報保障対応版については、完成時期が遅くなる可能性がある旨、あらかじめ御了承をお願いいたします。

## 相談事例集の構成について

### 第1 障害者差別解消法・東京都障害者差別解消条例とは

⇒ 法・都条例の概要を解説

### 第2 相談事例

#### ○相談受付状況について

⇒ H30.10～R2.3 までの不当な差別的取扱い・合理的配慮の提供に関する相談受付件数を提示。下記、相談件数の多い順に分野別に事例掲載。

#### 1 サービス（飲食店、買い物）

事例1	飲食店で「車椅子はダメ」と言われた（肢体不自由）
事例2	飲食店で盲導犬の入店を断られた（視覚障害）
事例3	合理的配慮の提供はどこまで行うべきか？（肢体不自由）
事例4	ヘルプカードを見せたが対応してくれなかった（パニック障害）

#### 2 サービス（その他）

事例5	スポーツジムの規程で利用拒否されている（精神障害）
事例6	行楽施設でパニックとなり、利用拒否された（自閉症）
事例7	マンガ喫茶店の利用を拒否された（視覚障害）
事例8	電話リレーサービスでの手続きを断られた（聴覚障害）
事例9	資格学校で手話通訳派遣を断られた（聴覚障害）

#### 3 行政機関等

事例10	イベントの安全・ルール面から参加許可できない（肢体不自由）
事例11	書類の期限延長を求めたが認めてくれない（発達障害）

#### 4 教育

事例12	学校が酸素ボンベの持ち込みに否定的（難病）
------	-----------------------

#### 5 不動産

事例13	敷地内通路の駐車を断られた（肢体不自由）
------	----------------------

#### 6 医療・福祉

事例14	柔軟剤の不使用について対応してくれなかった（化学物質過敏症）
事例15	医療機関で本人への心無い言葉に傷ついた（知的障害）

#### 7 交通

事例16	車いすで改札を通してくれない（肢体不自由）
------	-----------------------

### 第3 参考情報